

製品名: TPH2 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19155

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | 人間、マウス、ラット、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000 |
| 分子量 | 56kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | TPH2 |
| 別名 | TPH2; NTPH; Tryptophan 5-hydroxylase 2; Neuronal tryptophan hydroxylase; Tryptophan 5-monooxygenase 2 |
| 遺伝子 ID | 121278.0 |
| SwissProt ID | Q8IWU9 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト TPH2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 4-53 |

背景

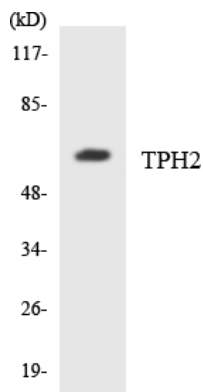
この遺伝子は、プテリン依存性芳香族酸水酸化酵素ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、重

要なホルモンであり神経伝達物質であるセロトニンの生合成における最初の段階であり、律速段階を触媒します。この遺伝子の変異は、双極性感情障害や大うつ病などの精神疾患と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2016年2月],触媒活性: L-トリプトファン + テトラヒドロビオプテリン + O(2) = 5-ヒドロキシ-L-トリプトファン + 4 α -ヒドロキシテトラヒドロビオプテリン,補因子: Fe(2+)イオン,疾患: TPH2 の遺伝的変異は、大うつ病性障害 (MDD) の感受性に影響を与える可能性があります [MIM:608516],経路: 芳香族化合物代謝; セロトニン生合成; L-トリプトファンからセロトニン: ステップ 1/2,類似性: ビオプテリン依存性芳香族アミノ酸ヒドロキシラーゼファミリーに属します,類似性: 1つの ACT ドメインを含みます,組織特異性: 脳特異的です,。

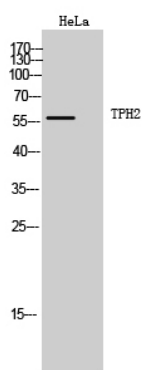
研究分野

トリプトファン代謝

画像データ



TPH2 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。



TPH2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウエスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。